

# 自己評価アンケート集計（職員）

5：よくできている 4：まあまあできている 3：あまりできていない 2：できていない 1：わからない

（5点満点）

基本方針	基本的方向	施策	取組	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	R7年度	R6年度
予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進	「確かな学力」の育成	学力向上の推進	1. 指導計画の作成と評価の工夫	6	37	4	1	2	3.9	3.5
			2. 生徒の多様性に対応した授業	12	32	4	1	1	4.1	4.1
		国際理解を深める教育	3. 英語の実践的な運用能力の育成	8	26	4	2	9	3.4	3.0
			4. AIタイムの充実	17	17	2	0	12	3.6	3.5
			5. 国際交流活動の推進	10	23	8	1	7	3.6	2.6
	情報活用能力の育成	6. 教員がICT機器を用いて行う授業	4	29	13	2	1	3.7	3.5	
		7. 生徒が主体的にICT機器を活用する授業	4	15	23	5	2	3.3	3.1	
	「豊かな心」の育成	人間力の育成	8. 生徒会活動の活性化	14	27	3	1	5	3.9	3.5
			9. 生徒主体の文化祭	13	28	6	0	3	4.0	4.0
		体験活動の推進	10. 研修(修学)旅行等、校外学習の活性化と事前事後指導の充実	11	31	3	1	4	3.9	3.9
	「健やかな体」の育成	心・技・体の醸成	11. 生徒主体の体育大会・スポーツ大会	14	33	0	1	2	4.1	3.9
			12. 活動方針に基づいた部活動の実施	7	29	4	1	9	3.5	3.4
		健康教育・保健指導	13. 健康相談や保健指導等の適切な実施	14	29	3	0	3	4.0	3.4
			14. 学校保健活動の推進	13	29	1	0	6	3.9	3.8
特別支援教育の推進	多様な学びの充実	15. 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育の充実	10	31	8	0	1	4.0	3.8	
	一貫性のある支援体制の構築	16. 特別支援学校のセンター的機能等の活用	15	11	10	0	13	3.3	3.9	
子どもたちの学びを支える環境の充実	教職員の資質・能力の向上	教職員の働き方改革の推進	17. 校務の情報化の推進	3	30	6	6	5	2.9	3.4
			18. 定時退勤や業務効率化への取組	6	21	14	8	1	3.0	3.3
	学校の組織力の強化	情報共有	19. 情報セキュリティ徹底、情報資産管理	8	21	11	6	4	3.5	3.4
		いじめ・不登校への対応	20. いじめアンケートによる未然防止・早期発見・対応	10	33	3	0	4	3.9	4.0
	学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進	家庭との協働	21. PTAとの連携	7	31	5	0	7	3.6	3.2
		地域への情報発信	22. HPやClassiを活用した情報の発信	11	31	4	0	4	3.9	3.7
			23. 授業公開やオープンスクールの実施	13	29	4	1	2	4.0	3.8
	多様性の尊重	子ども多文化共生教育の充実	24. 母語による支援の充実	17	21	5	3	4	3.9	4.0
			25. 日本語指導の促進	24	22	2	0	2	4.3	4.0
	安心・安全の確保	学校安全の取組の充実と危機管理態勢の整備	26. 安全に関する教室・講演会の実施	10	31	4	1	4	3.8	3.7
			27. 定期的・日常的な点検の実施	5	27	9	3	5	3.5	3.3
			28. 災害に備えた学校防災体制の充実	7	27	11	3	2	3.7	3.5

令和7年度 兵庫県教職員資質向上指標による自己点検

分野	資産	教員としての資質の向上に関する指標	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R7年度	R6年度
学習指導	授業実践力 授業改善力	1. 学校教育目標や生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。	8	31	6	2	2	3.8	3.9
		2. 学習指導要領の目標や内容に基づき、生徒の実態に応じた授業を設計することができる。	9	35	3	2	1	4.0	3.9
		3. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。	10	29	8	1	1	3.9	3.9
		4. 評価規準等に基づき、生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。	8	33	6	1	2	3.9	3.6
学級経営・生徒指導	集団を高める力	5. いじめ、不登校などの教育課題の緊急性や重要性を理解し、その予防・解決に取り組むことができる。	15	31	3	1	0	4.2	3.5
		6. 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。	11	31	2	1	4	3.9	3.4
	一人一人の能力を高める力	7. 生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、生徒と接することができる。	16	30	2	1	1	4.2	3.9
チームで組織を担う	協働性・同僚性	8. 「学校業務改善に関するガイドライン」に基づき、生徒と向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。	7	26	8	5	4	3.5	3.8
		9. 生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。	9	35	2	3	1	4.0	4.1
	組織的対応力	10. 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。	12	34	2	1	1	4.1	3.8
		11. 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	8	27	6	2	6	3.6	3.9
		12. 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。	4	36	5	2	3	3.7	3.7
資質を高める自立性	自己管理能力 変革力	13. 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。	12	35	2	0	1	4.1	4.0
		14. 適切な言動を心がけ、生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。	11	36	1	1	1	4.1	4.1
		15. 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。	11	36	2	0	1	4.1	4.1

## 学校評価アンケート集計（生徒）

4：そう思う 3：少し思う 2：あまり思わない 1：そう思わない  
 （質問項目4については、2：はい 1：いいえ）

（4点満点 但し項目4は2点満点）

内容	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R7年度	R6年度
1 授業に熱心に取り組むことができた。	163	172	23	5	3.4	3.4
2 予習・復習等の家庭学習の習慣がきちんと身についた。	78	146	106	33	2.7	2.8
3 AIや総合的な探究の授業に熱心に取り組むことができた。	181	140	34	8	3.4	3.3
4 部活動を続けていますか。	202	40	23	82	3.0	1.7
5 部活動に熱心に取り組むことができた。 （部活動に入っていた人のみ）	164	72	31	30	3.2	3.4
6 文化祭に積極的に取り組むことができた。	287	59	14	3	3.7	3.7
7 体育大会に積極的に取り組むことができた。	232	104	21	5	3.6	3.6
8 校外学習に積極的に取り組むことができた。	262	81	11	6	3.7	3.7
9 授業について満足している。	51	266	35	10	3.0	2.9
11 授業・部活動以外の学校生活について満足している。	124	219	18	2	3.3	3.3

# 学校評価アンケート集計（保護者）

4：そう思う 3：少し思う 2：あまり思わない 1：そう思わない

（4点満点）

内容	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R7年度	R6年度
1 授業におおむね満足していた	63	78	16	2	3.3	3.1
2 学校生活全般を楽しく過ごしていた。	116	37	6	1	3.7	3.7
3 文化祭等の学校行事やスポーツ大会等の生徒会活動に積極的に取り組んでいた。	118	37	2	2	3.7	3.7
4 部活動に熱心に取り組んでいた。 （お子様が入部していた方のみ）	87	25	9	8	3.5	3.6
5 子どもを芦屋国際中等教育学校で学ばせてよかった。	109	40	8	1	3.6	3.6
6 異なる国籍・言語・文化背景を持った友だちと学ばせてよかった。	127	27	0	2	3.8	3.9